

# デジタルシボ技術を活用した酒器の加飾

研究期間：令和3年度

担当者：南相馬技術支援センター 機械加工ロボット科 夏井 憲司



図1 応募企業の製品  
“瞬冷猪口 Cool Star”



図2 底面モデル  
(採用した意匠)



図3 意匠を付与した猪口

## 解決すべき課題

応募企業の製品(図 1)をふるさと納税の返礼品に登録するにあたり、デジタルシボの技術を活用して、猪口の底に意匠の付与を試みました。

## 研究内容

意匠の検討を簡略化するために、猪口の底面のみを切り出した底面モデルを作成しました。底面モデルに、南相馬市の花である桜の形状を付与しました。次に、桜の形状の周囲に、デジタルシボ技術を活用し皮目や布目などのシボを施した底面モデルを

複数作成しました。

意匠を施した底面モデルを 3D プリンタで出力し、出力品を比較することにより、採用する意匠(図 2)を速やかに決定することができました。

その後、マシニングセンタを使用して意匠を付与した猪口(図 3)を削り出しました。

## 結果・まとめ

デジタルシボ技術を活用して、猪口の底面に桜の形状と岩肌のシボを付け加えることができました。

**詳細な試験研究報告書はこちら！**

ハイテクプラザ 試験研究報告書

検索 

・「デジタルシボ技術を活用した酒器の加飾」

お問い合わせ窓口 TEL : 024-959-1741 (代表 : 産学連携科)